

2017年度 活動計画案

自 2017年4月01日 至 2018年3月31日

技術分野をまたぐ、つなぐ  
Cross and Bridge Technical Discipline

本協会は、機械、電気、土木、化学等分野の異なるエンジニアが集う、数少ない団体である。また、国籍の異なる方も含む会員が全国各地に居住しているということも特徴の一つである。

開かれた国際貿易と地球的な人間の安全保障及び環境保全とが改めて重要となっている現在、本協会に求められていることは、複雑化した法令、規格、慣習や資格制度等を専門職としての観点を踏まえつつ、一般大衆にもわかりやすく発信していくことである。また、そうした情報発信を通じて、日本に居住しながら欧米流のエンジニアライセンスを保持することの意義を再認識していくことも必要である。

今年度はこうした観点を踏まえ、「技術分野をまたぐ、つなぐ」をスローガンとして、本協会におけるこれまでの活動実績等も踏まえた次の諸活動を展開していく。

● 倫理的行動能力と国際的意思疎通能力の向上に重点を置いた CPD セミナーの展開

会員間交流の場として定着している、CPD セミナー、鬼金プロジェクトマネジメントセミナー、エンジニアズサロンを継続しつつ、本協会の設立趣意である「倫理」と「国際化」に立ち返った企画を増やし、参加会員の実践的能力向上を図るとともに、本協会ならではの実践的知見を生み出していく。また、セミナー参加が難しい遠隔地会員向けのメニュー開発も検討する。

● 米国 PE ライセンス取得促進活動の継続

米国 PE 取得動機向上の場として定着しつつある、メンタリング活動、シラバス評価・英訳支援活動、地域会員交流会は、支援する側と支援される側の双方にとって貴重な学びの場になっていることもあり、これらを継続する。但し、シラバス英訳支援活動については、支援のあり方を一度立ち止まって再検討していく。

● 対外交流の継続と対外発信の増加

米国 NSPE および JABEE との交流等を通じて外部有用情報の入手に努めるとともに、CPD セミナー開催や PE 取得促進活動等により得られた知見を、2012 年発行の「日本人のための PE ハンドブック」を改定する等の形で外部に発信する。また、会員間情報交換の貴重な場である JSPE マガジンの季刊発行を今年も継続する。

● 理事業務の効率化と会内諸活動間の連動強化

年間 1500 時間を超える理事の無償役務をこれ以上増やすことなく、上記の各活動が行えるようにするため、一部会計業務の税理士委嘱、会員管理基盤のクラウドサービスへの移行、および会内諸活動間の連動強化を図る。

今年度も会員諸氏のご理解、ご協力および参画をお願いしたい。